

共同研究・受託研究・バーチャル研究室等課題名：物質循環型植物生産システム（アクアポニックス等）の研究開発
研究代表者（所属）：北宅善昭（大阪公大・研究推進機構）

発表タイトル：大規模人工光型植物工場における有機質肥料利用の課題

○江口雅丈¹，中村謙治²，遠藤良輔³，和田光生³，北宅善昭¹，（発表者の左肩に○印をつけてください）
所属： 1 大阪公大・研究推進機構, 2 エスベックミック(株), 3 大阪公大・農学研究科

キーワード（5ワード程度）：有機質肥料，プロバイオポニックス，資源循環，物質生産，生理障害

要 旨（300文字程度）

環境負荷の低減を含む持続可能な食料システムの構築に向け、化学肥料使用量の削減が求められている。また、肥料供給の不安定化への懸念や生産物の高付加価値化への期待から、化学肥料による養液栽培が主流である人工光型植物工場においても有機質肥料への関心が高まっている。本研究では、大規模な人工光型植物工場での有機質肥料利用を検討するため、実生産を想定した環境・システム下で有機質肥料を用いてレタスを栽培した。本発表では、これまでの試験結果を基に、大規模利用における有機質肥料利用の課題について考察する。